

拓殖大学 vs 東洋大学

11月2日(日)
11:30K.O.
法大G

3連敗で昇格圏から離されつつある拓大と、実に6連勝で昇格圏に肉迫してきた東洋大との対戦。現状の雰囲気は好対照な両チームだが、前期に勝利を収めている拓大はわずかな希望をつなぐためにも意地を見せたい。

その拓大は前節、首位の関学大と対戦して0-1と惜敗。15分でいきなり負傷によりGK交代を余儀なくされるアクシデントがありながら、前半は優勢に進める時間もあったが、決定力を欠いた。3連敗はすべて0-1の敗戦であり、攻撃面の修正が急務だ。「クロスボールを上げられるチャンスはあったが、中とのタイミングが合わなかった」(玉井朗監督)。さらに試合終盤は3人交代のあと負傷者が続出、人数が少ないまま戦わざるを得なくなり反撃は叶わず。「上位争いに絡めているのは良い経験。諦めず出来るだけの力を見せたい」(玉井監督)。今節はその負傷者の穴埋めの対応と、攻撃面の連携が課題。先手を取って相手の勢いを止めたい。

一方の東洋大は前節、降格圏を脱して勢いに乗る平国大と対戦。苦しみながらも、2-0と確実に勝利をつかんだ。古川毅監督も「90分を通して非常に難しくタイトなゲームだった」と振り返ったように、平国大の意気込みの高さに押される時間も長く、シュートチャンスは

多くなかった。そんな中でも、直接FKとコーナーキックから得点を奪うという効率的な試合運びを見せたところが、前期7位から追いついてきたチームの実力。守る時間はしっかり守るのが東洋大の強みだ。「目先の試合に集中するという意識でここまで来ることができた。最後まで1試合ずつしっかり戦いたい」(古川監督)。
<出場停止>三浦勇人(拓大) / 3回警告:多田和明(拓大)、小山大貴・遊馬将也・仙頭啓矢(東洋大)
<前期の対戦>拓大2-0東洋大

拓大	東洋大
13. 新山	16. 石坂
7. 大森	8. 小島
26. 小島	10. 平石
10. 柴田	4. 郡司
19. 森川	7. 斉藤
21. 夏井	1. 浅沼
8. 菅能	18. 河野
18. 河野	15. 小山
6. 紙谷	18. 遊馬
5. 田口	20. 仙頭
4. 小針	3. 筑井
2. 谷川	

神奈川大学 vs 法政大学

11月2日(日)
13:50K.O.
法大G

2位・神大と4位・法大、勝点差2での対戦。神大は2試合連続3得点と、ようやく前期のような得点力が戻ってきた。法大も2連勝と、後期序盤の好調時の雰囲気が戻りつつある。勝たなければ苦しくなるのはどちらも同じ。星兄弟の対決もあり、今節最大の注目だ。

神大は前節、日体大に3-1で勝利。立ち上がりの5分にいきなりPKを与え先制を許し、「前半は相手に合わせてしまい、前に行けず攻撃の選択肢が少なかった」(松永道敬総監督)。それでも前半に許したシュートはその1本で、後半に入ると49分のセットプレーからの得点で勢いに乗り、2点を追加して逆転勝利を飾った。前線からプレスをかけ、高い位置で奪って攻撃を仕掛ける“出足の早さ”を再確認してきたというこの2試合は、3得点という決定力の高さを見せた。「失点を恐れず攻撃を仕掛ける」(松永総監督)という神大らしさを取り戻しての残り3試合に期待したい。

対する法大は前節、日大を2-1で振り切った。終始、優勢に試合を進めながら88分に追い付かれ、アディショナルタイムに勝ち越すという劇的な勝利は、まさに相手の粘りを振り切ったというゲームであった。劇的な勝ち方で波に乗れば良いが、「集中力が足りず失点

してしまった。また、最後のクロスやシュートシーンでもチャンスに対する集中力が足りない」と、長山一也監督は苦言を呈した。今節は攻撃の時間ばかりではなく、攻守の切り替えを見直し、“残り全勝して優勝”という希望を次節につなぎたい。

<3回警告>長野祐太・鈴木翔太・芦野翔太・高木利弥(神大)、青島拓馬・相馬将夏・白石智之・田代雅也・山田将之(法大)
<前期の対戦>神大3-1法大

神大	法大
3. 高木	8. 三田
11. 星	6. 星
4. 藤原	3. 宗近
16. 武田	5. 山口
10. 伊東	20. 日影
24. 鈴木	10. 高橋
1. 阿部	1. 四宮
6. 前田	25. 西室
5. 杉山	22. 田代
22. 伏木	14. 白石
7. 長野	2. 永戸

* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています *

JR 東日本カップ 2014 第 88 回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
 Division2 2014-NO.20
 編集:五味亜矢子 発行:(一財)関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ



残り3節、昇格・残留争いの行方は!?

JR 東日本カップ 2014 第 88 回 関東大学サッカーリーグ戦・2部リーグは第 19 節を終え、残り3節の大詰めを迎える。前節は、関学大が拓大に1-0、神大が日体大に3-1、東洋大が平国大に2-0、法大が日大に2-1、青学大が東学大に1-0と上位チームが軒並み勝利し、昇格争いは1~3位までが勝点3差にひしめき、サバイバル合戦の様相を呈している。今節も上位同士の勝負の行方から目が離せない。一方、残留争いでは東農大が産能大を3-1で下して後期初勝利を飾り、得失点差で10位浮上。下位同士の対戦結果でまだ状況は変わり得るが、産能大はもう1敗も許されない状況だ。

得点ランキング	アシストランキング
11: 遊馬 将也 (東洋大)	9: 伊東 純也 (神大)
星子 直哉 (平国大)	8: 大森 勇希 (拓大)
9: 菅沼 優聖 (関学大)	7: 仙頭 啓矢 (東洋大)
8: 星 広太 (神大)	6: 恵 龍太郎 (青学大)
7: 全4名	5: 全4名

残り試合が少なくなり、個人賞の行方も気になってくる。得点王は14、アシスト王は11という規定数に到達する選手は出てくるのか。最後までもつれそうな昇格・残留争いととも、個人賞にも注目だ!

JR 東日本カップ 2014 第 88 回 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第19節終了時。上段が前期の対戦結果)

順位	2部	関学大	神大	東洋大	法大	青学大	拓大	日体大	日大	東学大	東農大	平国大	産能大	勝数	負数	分数	得点	失点	得失	勝点
1	関学大		3○2 11/15	1●2 2○0	2○1 11/9	1●4 11/1	2○0 1○0	2△2 0△0	4○2 1○0	3○0 1△1	2○1 2○1	5○0 0●1	3△3 1○0	12	3	4	36	20	16	40
2	神大	2●3 日体大G		0●1 1●2	3○1 11/2	2△2 3○2	4○0 11/9	0△0 3○1	1○0 3○2	3○1 1△1	3○0 1△1	5○3 1●2	4○0 1○0	11	4	4	41	22	19	37
3	東洋大	2○1 0●2	1○0 2○1		0●2 3○2	1△1 11/9	0●2 11/2	1●2 3○1	0●1 2○0	0●1 11/15	1○0 3○0	3○2 2○0	4○0 4○1	12	6	1	32	19	13	37
4	法大	1●2 横須賀	1●3 法大G	2○0 2●3		2△2 3○1	3○0 1○0	0△0 11/15	4△4 2○1	2○0 3○1	1○0 3○0	0△0 1●2	2△2 2○0	10	4	5	35	21	14	35
5	青学大	4○1 産能大G	2△2 2●3	1△1 夢の島	2△2 1●3		3△3 11/15	2○0 2○1	2○1 1●3	0●2 1○0	3○0 2○1	1△1 1○0	0●1 1○0	9	5	5	31	25	6	32
6	拓大	0●2 0●1	0●4 横須賀	2○0 法大G	0●3 0●1	3△3 産能大G		2○0 2○1	2○0 0△0	0●3 4○1	1○0 1△1	5○0 2○0	1○0 0●1	9	7	3	25	21	4	30
7	日体大	2△2 0△0	0△0 1●3	2○1 1●3	0△0 日体大G	0●2 1●2	0●2 1●2		0△0 11/8	1○0 0●2	1△1 11/1	2○1 3○1	4○1 2○1	6	7	6	21	24	-3	24
8	日大	2●4 0●1	0●1 2●3	1○0 0●2	4△4 1●2	1●2 3○1	0●2 0△0	0△0 江戸陸		2○0 3○1	1△1 11/15	0●2 0●1	3○0 11/1	5	10	4	23	27	-4	19
9	東学大	0●3 1△1	1●3 1△1	1○0 東学大G	0●2 1●3	2○0 0●1	3○0 1●4	0●1 2○0	0●2 1●3		0●1 1△1	3○2 11/1	1△1 11/8	5	10	4	19	29	-10	19
10	東農大	1●2 1●2	0●3 1△1	0●1 0●3	0●1 0●3	0●3 1●2	0●1 1△1	1△1 日体大G	1△1 東学大G	1○0 1△1		1○0 11/9	5○0 3○1	4	10	5	18	27	-9	17
11	平国大	0●5 1○0	3●5 2○1	2●3 0●2	0△0 2○1	1△1 0●1	0●5 0●2	1●2 1●3	2○0 1○0	2●3 日体大G	0●1 たつこの		4●6 11/15	5	12	2	22	41	-19	17
12	産能大	3△3 0●1	0●4 0●1	0●4 1●4	2△2 0●2	1○0 0●1	0●1 1○0	1●4 1●2	0●3 産能大G	1△1 たつこの	0●5 1●3	6○4 産能大G		3	13	3	18	45	-27	12

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

勇気は、努力がつかってくる。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会



RECRUIT

日本大学 VS 産業能率大学

11月1日(土)
11:30K.O.
産能大G

8位・日大と12位・産能大の対戦。産能大はこの試合で敗れると、東農大・平国大のどちらかが勝利した場合に降格が決まってしまうという剣ヶ峰の戦い。日大も、8位とはいえ降格圏との勝点差は2であり、負けないのは同じ。勝利に執着できるのはどちらか。

その日大は前節、法大に1-2で敗れた。全体的には押されながらも粘り強く対応し、1点を争う好ゲームであったが、88分に追い付きながら90+2分という試合終了間際に再び勝ち越しを許してしまった。ここ3試合は無得点に抑えられていただけに、少ないチャンスながら諦めず同点としたところは良かったが、残り時間に賭ける相手の勢いを抑え切れなかった。川津博一監督は、攻撃面に関して「もっとボールを大事にして、自分たちのつなぐサッカーができなかった」と話したが、残り試合では内容以上に結果が求められる。「気持ちで負けないう試合の入りから集中したい」（川津監督）。

対する産能大は前節、11位・東農大との対戦を1-3で落としてしまった。3失点という失点数もそうだが、取られた時間帯が悪すぎた。まずは序盤の9分にクリアボールをヘディングでつなぐが失点。U-19日本代表帰りのFW越智大和（1年）が直接FKを決めて同点と

し、流れを変えかけた4分後の43分に勝ち越し点、そして後半開始早々の52分に3点目を奪われた。「悔しいが、結果が今の実力。シュートを打ちにくい決断力やアイデアに欠けていた。何をどう変えるかではなく、勝つしかない」（加藤望監督）。追い込まれた状況で、底力と残留への思いを見せられるか。

<3回警告>成瀬琢斗（日大）、楠元秀真・見留耀太・須永亨（産能大）

<前期の対戦>日大3-0産能大

日大		産能大	
29. 高田	14. 成瀬	9. 越智	15. 杉崎
30. 梓	10. 小林	32. 木下	4. 楠元
21. 小淵	8. 床井	10. 見留	8. 浜下
	11. 齋藤	26. 桜井	1. 森谷
	19. 高山		6. 遠藤
3. 奥村	7. 廣田	17. 岡村	
2. 長谷川			5. 渡辺

東京学芸大学 VS 平成国際大学

11月1日(土)
11:30K.O.
日体大G

9位・東学大と、得失点差で11位に逆戻りしてしまった平国大との勝点2差での戦い。お互いに負けられない残留争いの直接対決だ。前期の戦いは、2点を先行した平国大に対して東学大が劇的な逆転勝利を飾っている。2度目の対戦も激戦必至だ。

東学大は前節、青学大と対戦して0-1で敗れた。立ち上がりの10分にFKを直接決められ、後期では初めて先制点を与えてしまったが、最終的にはこれが痛かった。その後、ボール支配率は東学大のほうが高くなったが、青学大の守備が厚くなりゴールをこじ開けることができなかった。「1点取れば変わらなと思ったが…先制点を取られて、ウチとしては難しい試合になってしまった」（榎山康監督）。守備面ではそれほど危ない場面がなかっただけに、FKでの失点は悔やんでも悔やみ切れない。結果的には後期初の無得点試合となってしまったが、今節は内容より結果。前期の再現を見せたい。

対する平国大は前節、好調の東洋大を苦しめたものの、最終的には0-2で屈した。上位チームを破ってきている実績もあり、この日も前半は東洋大のお株を奪うような攻撃を見せて押し込む展開に。しかし得点には至らず、後半に入ってFKとCKから得点を与えてしまい、

連勝は2で止まった。「惜しかった。上位チームとも互角にできて、やりたいこともやれていた。力がついてきているが、レベルが上がれば上がるほど小さいところで勝負が決まってくる」（西川誠太監督）。わずかな差だが、結果は大きい。残り3試合は下位同士の対戦となるだけに、さらに攻撃の精度を上げたいところだ。

<3回警告>富澤右京・五十嵐亘（東学大）、尾林一樹・千葉真史（平国大）

<前期の対戦>東学大3-2平国大

東学大		平国大	
2. 吉田	16. 富澤	3. 竹内	5. 小松崎
3. 安藤	9. 山田	9. 星子	35. 五十嵐
7. 平田		10. 堀越	6. 鎌田
1. 須賀		1. 荒川	
8. 菅		7. 尾林	
4. 脇本	11. 五十嵐	20. 村川	2. 増田
5. 廣木	18. 久保	25. 玉田	

関東学院大学 VS 青山学院大学

11月1日(土)
13:50K.O.
産能大G

首位を守っている関学大と、昇格への可能性を首の皮一枚残している青学大との対戦。関学大にも決して余裕はないが、青学大にとっては最後のチャンス。前期は大勝している青学大が、可能性を残すことはできるか。

関学大は前節、拓大と対戦して1-0という薄氷の勝利を収めた。こここのところ、苦しみながらもしっかり勝点を積み上げているが、石村大監督は「結果だけでなく内容も受け止めて改善しなければならない」と話した。特に前半はセカンドボールの処理で後手にまわり押し込まれる時間が長かったが、我慢して無失点で終えたことが後半の反撃につながった。「ここ数試合、後ろの選手は粘り強く対応している。相手優位の状況でもプレッシャーをかけられているし、守備の安定が前期に比べて収穫点」（石村監督）。戦列復帰したFW富樫敬真（3年）もアシストで結果を残したのは明るい材料。追ってくるチームのプレッシャーを跳ね返して戦えるかどうか。

対する青学大は前節、東学大と対戦し、こちらも苦しみながら1-0で勝利を収めた。試合開始10分で得たFKをDF諸井孝太（4年）が直接決めて最高の立ち上がりとなったが、最終的なシュート数は5-10。「早い仕掛けにチャレンジしたのはいいが、そのためにボー

ルを失うのが早かった。キープできず、選手の消耗が大きかった」（宮崎純一監督）というように、相手にボールを持たれる時間が長かった。それでも、東学大の遅攻にはゴール前でしっかり対応し、無失点のまま大きな1勝を得た。今節も我慢の時間帯は長くなるかもしれないが、早い仕掛けの精度を挙げて得点を狙いたい。

<3回警告>萱沼優聖（関学大）、荒木大吾・諸井孝太（青学大）

<前期の対戦>関学大1-4青学大

関学大		青学大	
4. 久保	8. 普光院	11. 恵	6. 服部
3. 原島	18. 萱沼	25. 水島	
7. 太田		18. 山田	
1. 井田		4. 後藤	1. 高橋
	23. 長谷川	10. 関谷	
	19. 山口	8. 伊藤	3. 御牧
	9. 富樫	7. 荒木	
2. 吉田	16. 木村		16. 諸井

日本体育大学 VS 東京農業大学

11月1日(土)
13:50K.O.
日体大G

上位グループへの浮上が厳しくなった日体大と、得失点差で降格圏を脱出した東農大との対戦。後期初、5カ月ぶりの勝利を挙げた東農大は連勝を狙いたい。

日体大は前節、神大と対戦して1-3で敗れた。昇格への可能性が絶たれ、「来年につなげるためにも大事に戦おうという1試合目」（倉又寿雄監督）と気持ちを切り替えて積極的に臨んだ試合は、開始5分でPKから先制点を奪ったが、その後攻め切れずに逆転を喫した。前半は押し込まれたところを早い選手交代で対応し、守備の徹底を図って後半に入ったが、開始10分までに2失点して流れを奪われた。「同点で我慢したかったが、集中力が切れてしまった。サイドで起点を作って2列目から出ていきかけたが、形ができなかった」（倉又監督）。完全に降格がなくなっただけに、4試合ぶりの勝利を狙いたい。

一方の東農大は前節、12位・産能大との重要な一戦を3-1でモノにし、第10節以来、実に5カ月ぶりの勝利を味わった。後期は1点以上取れた試合がなく、完封負けも2試合。「序盤の失点が多かったので、入り方に注意した。先制して追い付かれても、追加点を取れたのが大きかった」と秋吉保浩監督が話したように、39

分にFKで追いつかれた後、43分に勝ち越せたことが勝負の流れを決めたと言える。MF石川乾悟（3年）がハットトリックと活躍したほか、流れの中から3得点したことも大きい。得失点差ではやや優位を保っている残留争いではあるが、まだまだ気は抜けない。久々の勝利を浮上のきっかけにできるか。

<3回警告>ンドカ ポニフェイス（日体大）、加藤聖哉・小田原貴・金裕志・村山翔・佐々木翼・櫻岡徹也（東農大）

<前期の対戦>日体大1-1東農大

日体大		東農大	
2. 高野	10. 阿部	13. 岡庭	17. 徳田
3. 広瀬	27. 岩城	15. 小田原	25. 金
23. 小泉		12. 榑原	21. 松尾
1. 伊藤		14. 石川	10. 浜田
25. 輪笠		5. 櫻岡	
20. 高野	7. 長谷川	8. 佐々木	3. 加藤
6. 赤平	26. 福田		